

令和4年度市町村における「健康長寿に係るイチオシ事業」

市町村名

狭山市

1 事業名(タイトル)

おりぴい健康マイレージ事業

2 事業概要

狭山市では、男女ともに平均寿命が80歳を超え、医療や介護などの社会保障費が増加しているため、健康づくり事業に取り組むことで、医療費の抑制を図るとともに、市民一人ひとりがいつまでも健康を実感し、生き生きとした心豊かな生活が送れるまちを目指し、平成29年度から埼玉県が推進する健康長寿埼玉モデルのプラス1,000歩運動と埼玉県コバトン健康マイレージに参加し、普段の歩数から1,000歩多く歩くことを目標に、その歩いた歩数をポイント換算することで、景品と交換できる「おりぴい健康マイレージ」を実施している。

(1) おりぴい健康マイレージ事業

①ポイント等お知らせメールの配信（4月～）

参加者に月に1度メールを配信し、ポイントの保有状況や、ウォーキングイベント等のお知らせを行った。

②新規参加者の募集（4月～）

昨年度に引き続き、埼玉県コバトン健康アプリによる参加者を随時募集している。

③景品発送（3月頃予定）

市独自ポイントの基準に達した参加者に全国農協商品券を受け渡す予定。

3 参加者数

1,926 人 備考

4 予算

4,400 千円 備考

5 事業効果等

(1) おりぴい健康マイレージ事業

①参加者の増加

在宅ワーク等の影響等もあり、昨年度末より参加者が221人増加した（令和4年11月末現在）。

新規参加者の年代別に見ると50代が最も多かった。（別添グラフあり）

②健康増進の効果

身体計測会を実施できなかったことから、体重や腹囲等の減少効果を検証することができなかった。

今後アンケートを実施し、自己申告による体重や腹囲等の減少効果を確認する予定。

6 その他(課題等)

新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者を集めて行う身体計測会などが実施できなかったことから、感染症の流行下においても事業を継続できる手法等の検討が必要となる。

また、参加者全体から見るとボリューム層であるはずの60代以上の新規参加者が進んでいない。これは当市の新規参加方法がアプリのみであることから、スマホを使いこなせない等の理由によるものと思われる。公民館のスマホ講座等と連携してアプリ会員を増やす、または歩数計による参加を再開する等を検討する。

7 写真・グラフ等

